

ADWAYS

PRESENTATION
MATERIAL

Feb. 2020

FEBRUARY 4th, 2020



THIRD
QUARTER

2020年2月4日 株式会社アドウェイズ

2020年3月期第3四半期決算説明会 代表取締役社長 岡村 陽久

東証マザーズ：2489

目次

- 1. 第3四半期の業績 ...P.3
- 2. 事業概況 ...P.15
- 3. 補足資料 ...P.32

1 第3四半期の業績

- Chapter1 : **Third quarter results**

当第3四半期累計の業績と 前年同四半期比較

[単位：百万円]

	2020年3月期 第3四半期累計	前年同期比 2019年3月期第3四半期累計		
		実績	増減額	増減率
売上高	27,149	32,526	▲5,377	▲16.5%
売上総利益	4,649	5,553	▲903	▲16.3%
販管費	4,650	4,865	▲214	▲4.4%
営業利益	▲1	687	▲689	—
経常利益	141	674	▲532	▲79.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲144	392	▲536	—

売上高 前年同期比 **53億77百万円の減少** (16.5%減)

営業利益 前年同期比 **6億89百万円の減少** (-)

当四半期の業績と 前年同四半期・前四半期比較

[単位：百万円]

	2020年3月期 第3四半期	前年同四半期比 2019年3月期第3四半期			前四半期比 2020年3月期第2四半期		
		実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
売上高	9,125	10,038	▲ 912	▲ 9.1%	8,997	+128	+1.4%
売上総利益	1,680	1,632	+47	+2.9%	1,515	+165	+10.9%
販管費	1,576	1,511	+64	+4.3%	1,510	+65	+4.4%
営業利益	103	121	▲ 17	▲ 14.4%	4	+99	—
経常利益	163	149	+14	▲ 9.5%	54	+108	+200.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	83	130	▲ 47	▲ 36.1%	39	+ 44	+112.4%

売上高 前年同四半期比 **9億12百万円の減少** (9.1%減)
前四半期比 **1億28百万円の増加** (1.4%増)

営業利益 前年同四半期比 **17百万円の減少** (14.4%減)
前四半期比 **99百万円の増加** (-)

第3四半期における売上・営業利益の増減要因

[売上高 前四半期比(事業別)]

	当四半期 2020/3Q	前四半期 2020/2Q	増減額
スマートフォン	4,765	4,396	+369
インターネット	3,379	3,670	▲291
海 外	704	624	+79
合 計	8,849	8,692	+157

[営業利益 前四半期比(事業別)]

	当四半期 2020/3Q	前四半期 2020/2Q	増減額
スマートフォン	605	480	+124
インターネット			
海 外	▲79	▲100	+20
合 計	525	380	+144

[主な増減要因]

[単位：百万円]

スマートフォン [売上高：3億69百万円の増加]

UNICORNの成長に加え、米国ゲームクライアントの大型案件受注、及びQRコード決済アプリのプロモーションが堅調に推移し増加した。

インターネット [売上高：2億91百万円の減少]

金融：2Qにおいて好調であった消費税のキャッシュレス還付需要を見込んだクレジットカード案件の一巡により予算が縮小した。

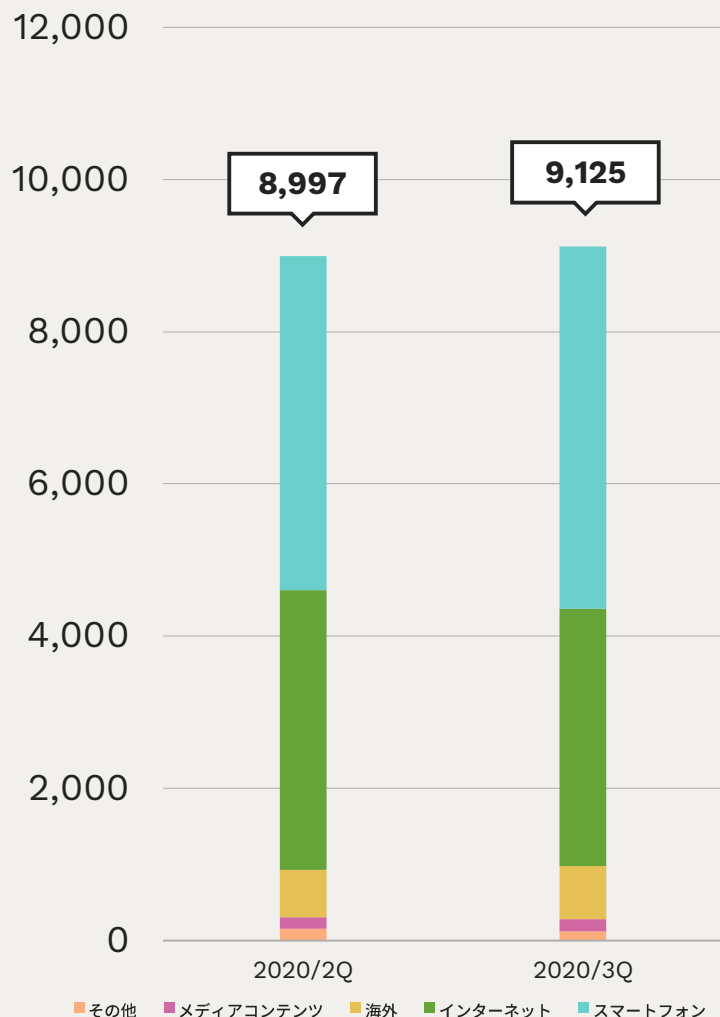
E C：サブスクリプション案件は堅調に推移したものの、法令遵守に伴う広告出稿の厳格化により健康食品及び美容関連の案件が減少した。

海 外 [売上高：79百万円の増加]

中国クライアントの日本キャンペーンの受注、及びブランド広告の受注増加により売上・営業利益とも増加した。

売上高の前四半期比較

単位：百万円



Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

国内広告業・・・81億45百万円

前四半期比：78百万円増（1.0%増）

スマートフォン・・・47億65百万円

（主にアプリ広告）

前四半期比：3億69百万円増（8.4%増）

UNICORNの成長に加え、米国ゲームクライアントの大型案件受注、及びQRコード決済アプリのプロモーションが堅調に推移し増加した。

インターネット・・・33億79百万円

（PCWeb広告及びスマートフォンweb広告）

前四半期比：2億91百万円減（7.9%減）

[金融] 2Qにおいて好調であった消費税のキャッシュレス還付需要を見込んだクレジットカード案件の一巡により予算が縮小した。

[E C] サブスクリプション案件は堅調に推移したものの、法令遵守に伴う広告出稿の厳格化により健康食品及び美容関連の案件が減少した。

海外事業・・・・・・7億4百万円

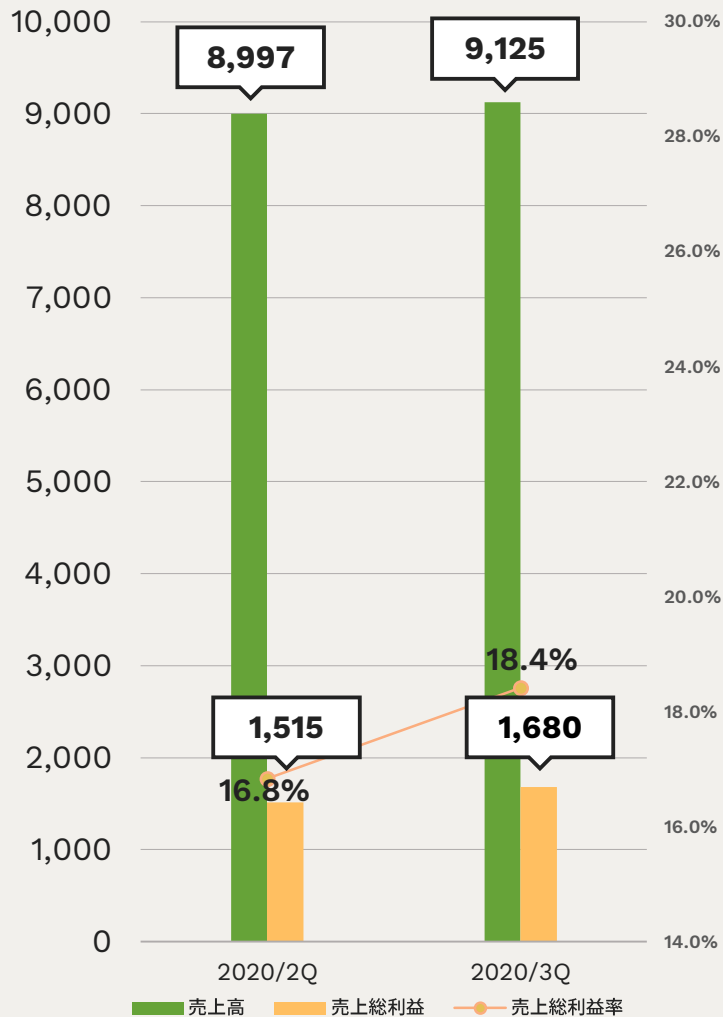
前四半期比：79百万円増（12.7%増）

中国クライアントの日本キャンペーンの受注、及びブランド広告の受注増加により、売上高が増加した。

※海外子会社（インド除く）の決算期は12月のため、当社グループにおける2020年3月期第2四半期会計期間の連結決算対象期間は7月～9月となります。

売上総利益の前四半期比較

単位：百万円



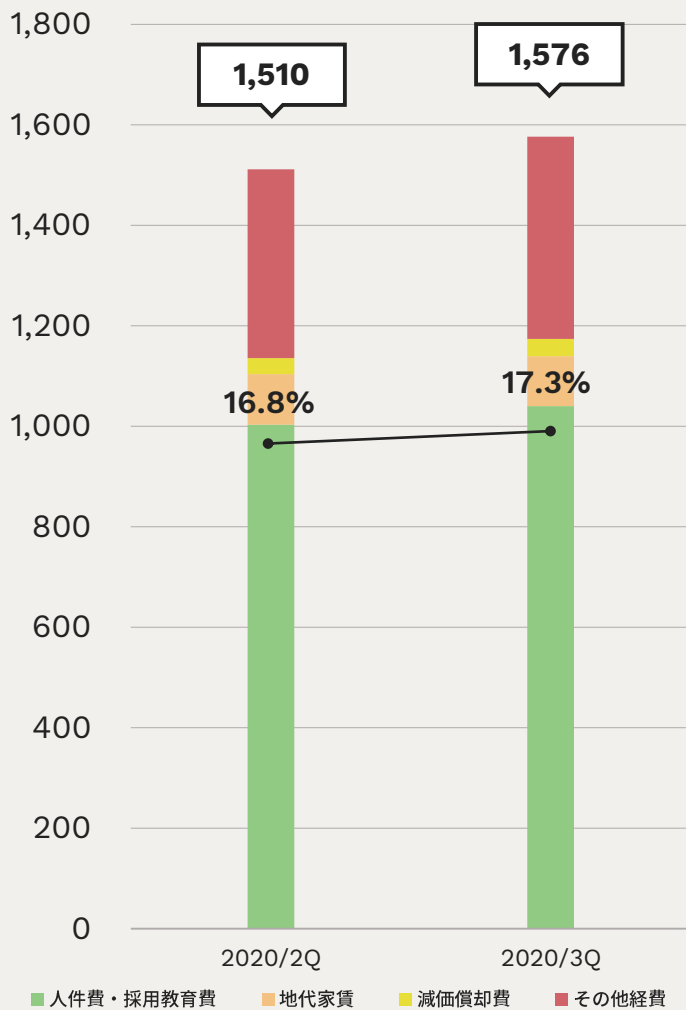
当四半期売上総利益 16億80百万円

前四半期比：1億65百万円増（10.9%増）

売上総利益率：18.4%（1.6ポイント増）

販管費の前四半期比較

単位：百万円



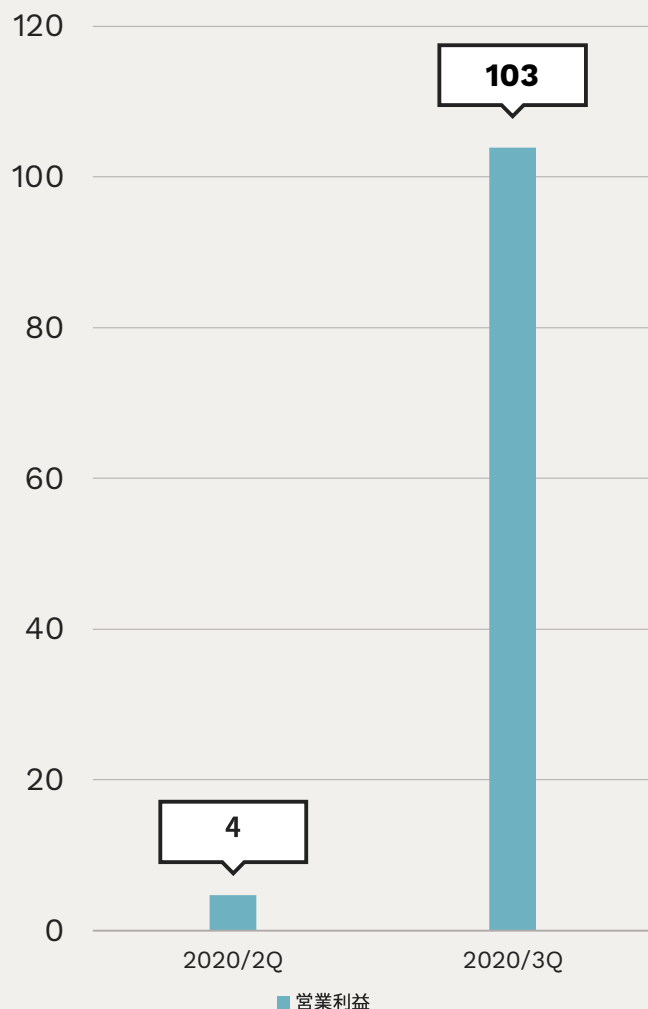
当四半期販管費 15億76百万円

前四半期比：65百万円増（4.4%増）

販管費率：17.3%（0.5ポイント増）

営業利益の前四半期比較

単位：百万円



当四半期営業利益 1億3百万円

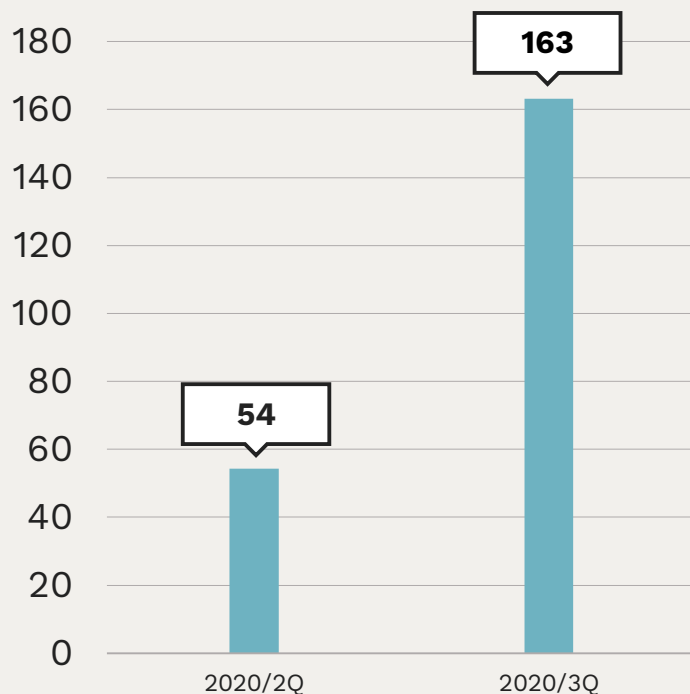
前四半期比：99百万円増（－）

- ・ 売上総利益の増加により増加

※増減率は1,000%以上のため表記しておりません。

経常利益の 前四半期比較

単位：百万円

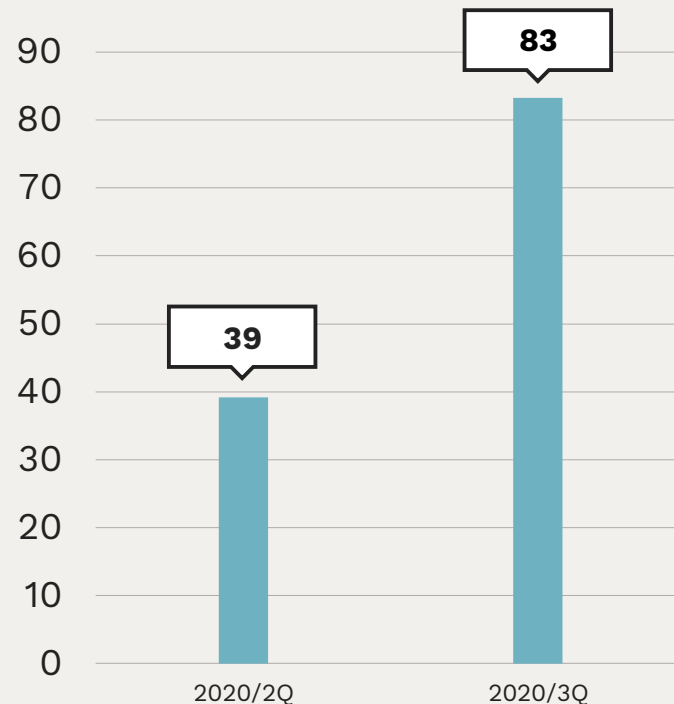


当四半期経常利益 163百万円

前四半期比：1億8百万円増（200.9%増）

親会社株主に帰属する 四半期純利益の 前四半期比較

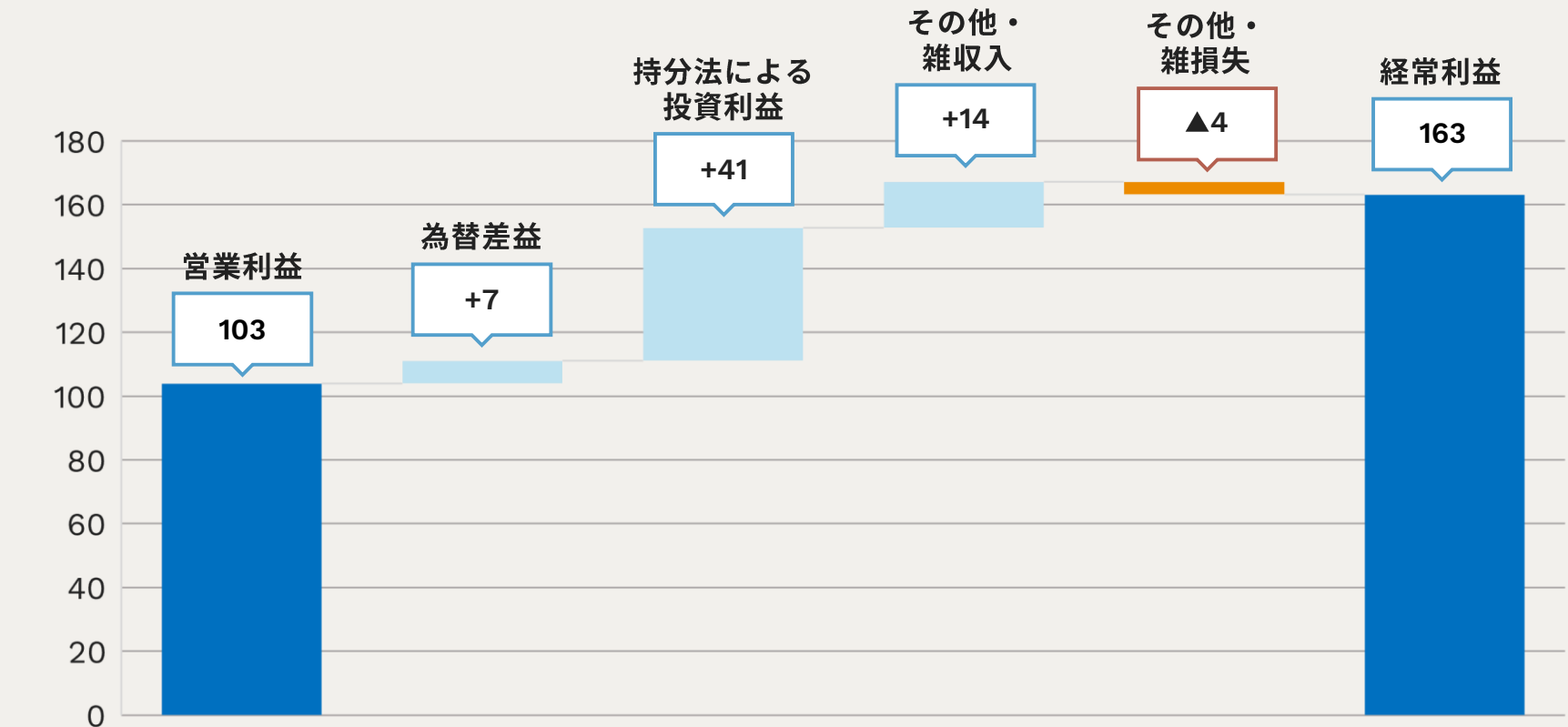
単位：百万円



**親会社に帰属する
当四半期純利益 83百万円**

前四半期比：44百万円増（112.4%増）

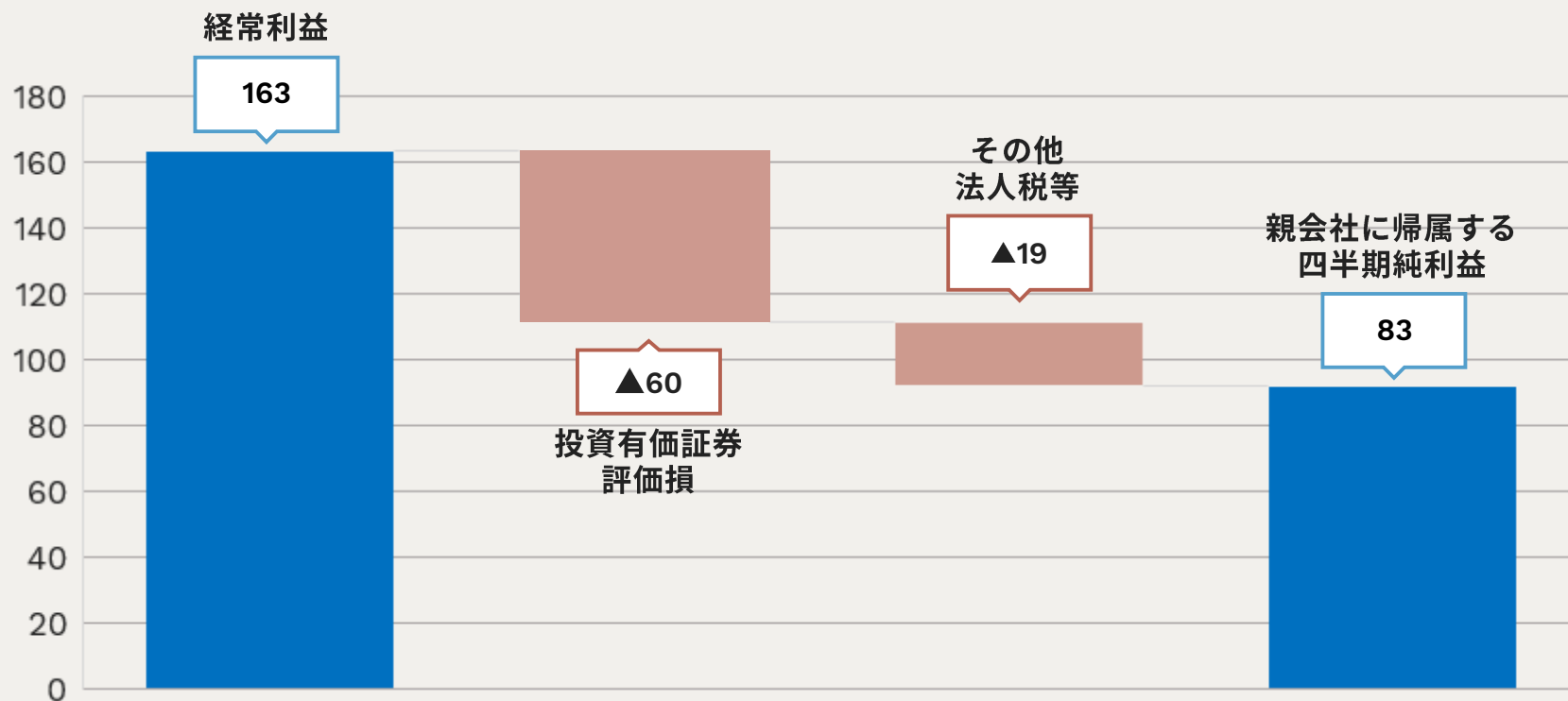
経常利益の推移



単位：百万円

為替差益	・・・	7百万円	その他・雑損失	・・・	▲4百万円
持分法による投資利益	・・・	41百万円			
その他・雑収入	・・・	14百万円			

親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



単位：百万円

投資有価証券評価損 ▲60百万円 銘柄数 (9社)

その他法人税等 ▲19百万円：うち日本本社法人税▲4百万円

2020年3月期 業績予想と実績

[単位：百万円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
業績予想	38,000	200	230	30
実績	27,149	▲1	141	▲144
進捗率	71.5%	—	61.7%	—

「業績予想」とは、2019年11月1日付けで発表した数値。

2.

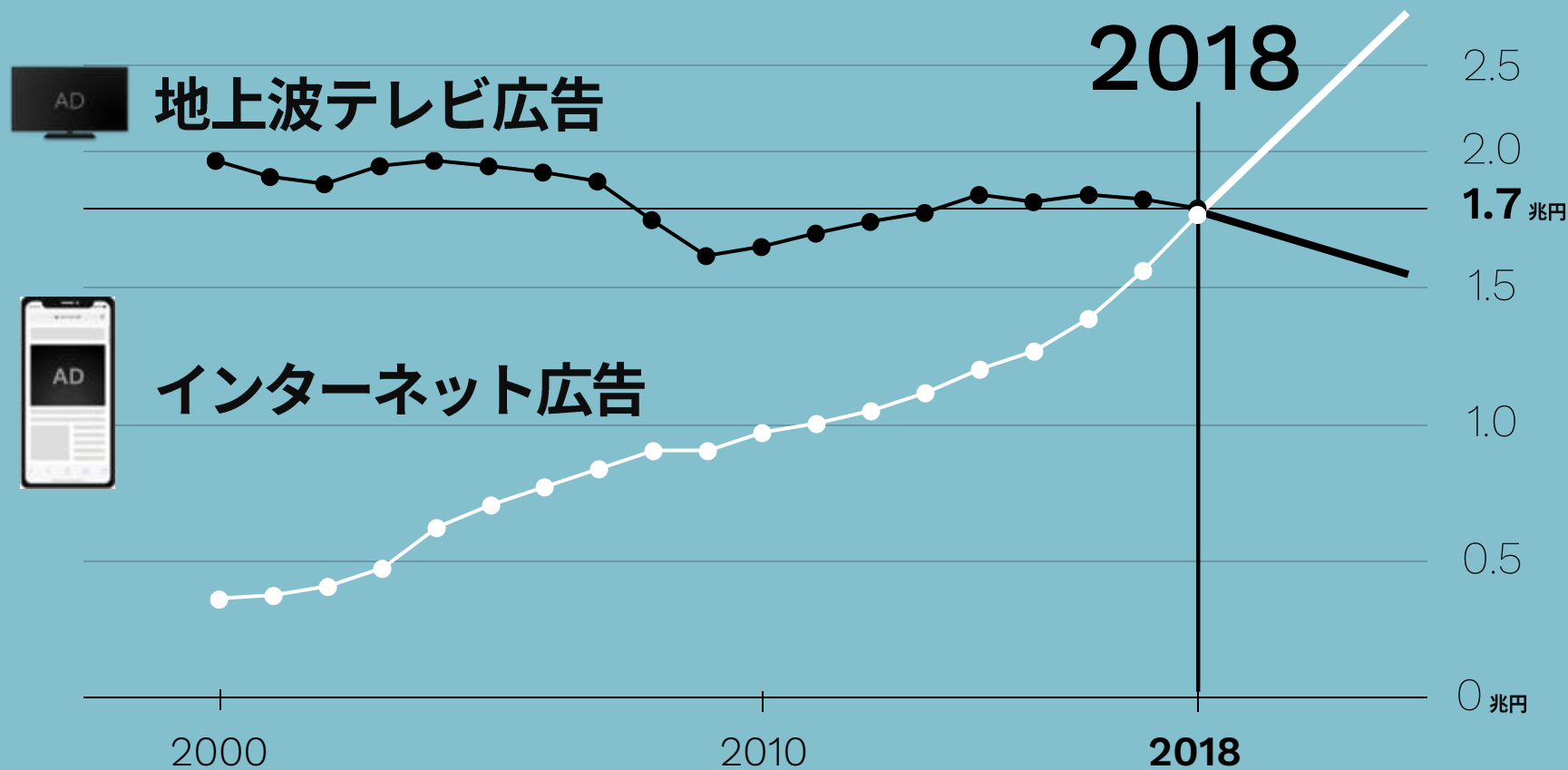
Chapter2 : business overview

事業概況

市場の成長

third quarter

参考資料：2019年媒体別広告費 | 電通発表



2019 インターネット広告が
テレビを超える可能性

パフォーマンス広告に加えブランディング広告にもアプローチする理由

パフォーマンス広告

PERFORMANCE AD

アプリクライアントを中心とした業界
最先端の全自動システムを活用した
高パフォーマンスの広告運用の
実績とノウハウ。

アドウェイズの得意領域

ブランディング広告

BRANDING AD

動画に加え3DモデルやARを使用し、
興味を持ったユーザーが実際、触れて
体験できるインタラクティブなクリエイ
ティブを実現。リアルタイムで集計し
そのデータをもとにした配信調整も可能。

新たな拡大領域



ADWAYS

主にアプリ領域での成長加速

アプリ領域での成長を更に加速すべく

株式会社博報堂

DYメディアパートナーズと

資本業務提携

博報堂DYメディアパートナーズに対して、当社普通株式2,837,800株
(2019年9月30日時点のアドウェイズ発行済株式総数41,588,500株に対して6.82%、
総議決権個数387,450個に対して7.32%)

資本業務提携の目的

third quarter

アプリプロモーション領域を中心としたブランド広告主向けインターネット広告事業において連携強化を図り、お互いの企業価値を向上させるため、資本業務提携契約を締結

アドウェイズの得意領域を博報堂DYグループクライアントに提供

ハイレベルなサービスを共同で提供することで市場シェアを高める。



資本業務提携による効果

third quarter

①パフォーマンス領域

トータルコミュニケーション戦略の提案

博報堂DYグループ

ナショナルアカウント
オフライン
メディアバイイング



ADWAYS

アプリマーケティング
アドプロダクト

主にアプリプロモーションにおける提案において共同チームで提案を行い、これまで双方が培ってきたオフライン・オンライン・パフォーマンス領域の知見を横断した提案が可能となりクライアントにとって価値の高く効率的なプロモーション展開を可能に。

資本業務提携による効果

third quarter

②ブランド領域

トータルコミュニケーション戦略の提案

博報堂DYグループ

ナショナルアカウント
オフライン
メディアバイイング



ADWAYS

Creative – Tech
UNICORN
POKKT

自社サービスや独占販売契約の締結を行っているPOKKTなどにおいて注力している市場価値の高いCreative-Techを用いたブランド領域での広告配信を、博報堂DYグループが持つナショナルクライアントへの提供をより円滑に行うことが可能となり市場内での拡大を加速。

ブランド広告主 への 取り組み

様々な広告手法

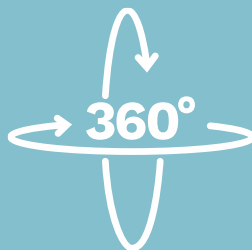
third quarter

インタラクティブ AD



視聴しながらタップなどのアクションをすることができ、ストーリーを選択しながらコンテンツの疑似体験ができる広告

3D AD



商品をタップし360°回転、ズーム、色変更などユーザーが実際に触れることができる全く新しい形の体験型広告

提供開始

AR AD



スマホやタブレット型端末のカメラを、現実の風景などに向けると、商品の3Dモデルが空間に配置される広告

NEW!

Branded Mini-Game AD



広告配信専用のゲームを作成しゲームアプリ内で配信。ユーザーが配信枠内でゲームをそのまま遊ぶことができる広告

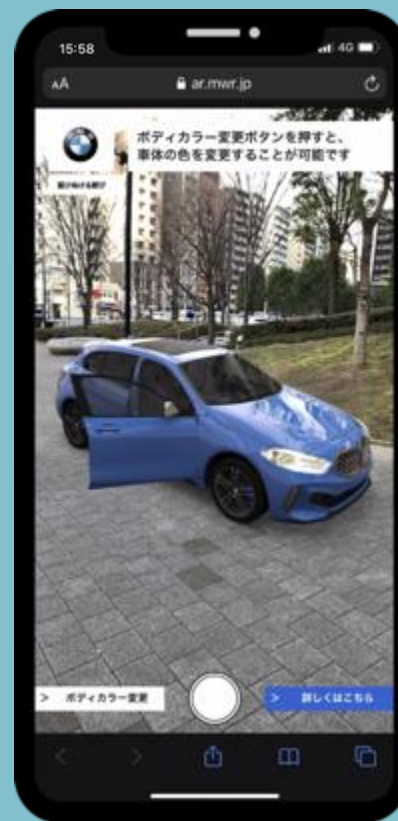
従来のようにユーザーが受動的に視聴する一方通行の広告とは違い、ユーザーのニーズに応じてよりリッチな体験ができることから、ブランド認知の拡大とブランド想起の向上が可能です。

AR ADとは

スマホやタブレット型端末のカメラを、現実の風景などに向けると、商品の3Dモデルが空間に配置される広告です。
購入の前に色や採寸などのイメージを実際に確認することができるので、ユーザーの購入意欲をアップさせることができます。



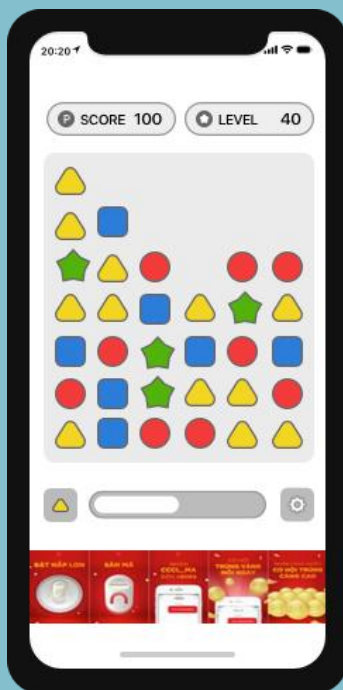
配信バナー



AR動画

Branded Mini-Game ADとは

広告配信専用のゲームを作成し、ゲームアプリ内で配信。ユーザーが配信枠内でそのままゲームを遊ぶことができる広告です。親和性の高い配信枠で、ゲームの体験を通じて訴求を行うことでブランド認知のみならずロイヤリティの向上を目指すことが可能です。



配信バナー



ゲームクリエイティブ



ゲーム完了画面

※海外事例

UNICORNの進捗

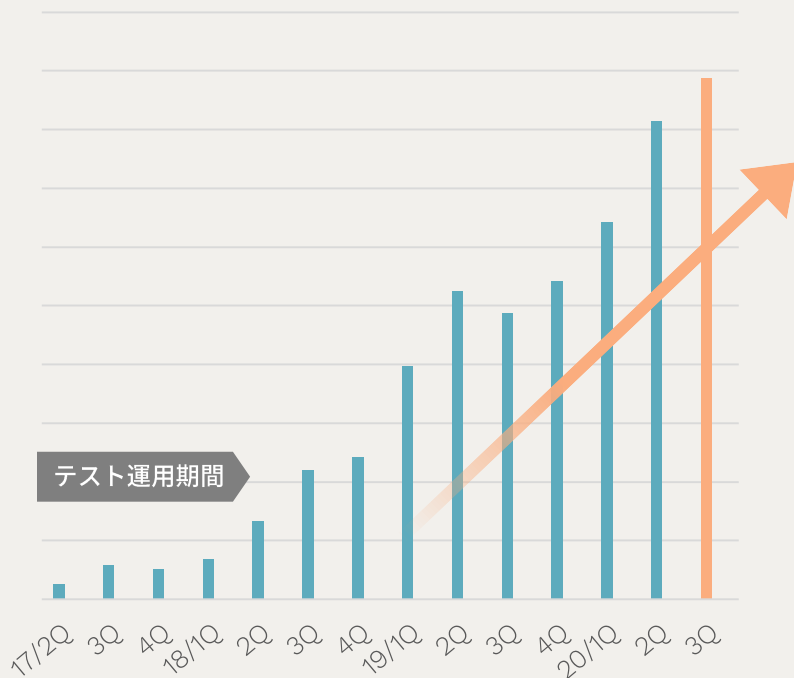
third quarter

UNICORNの数字進捗報告

UNICORNの進捗

third quarter

UNICORNの売上高



売上高は引き続き成長

UNICORN経由での 獲得ユーザーのROAS^{※1}数値



UNICORN

平均 **63%**

(2019年12月度実績)^{※2}

引き続き**高いROAS**を実現

※1 ROAS(Return On Advertising Spend)

投下した広告費に対して得られた利益割合のこと。広告費用対効果。

※2 キャンペーン上位5位を集計。

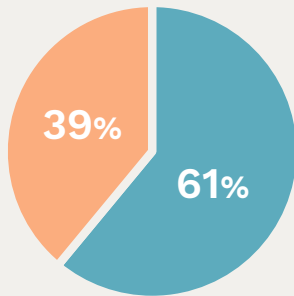
About UNICORN

UNICORNの進捗

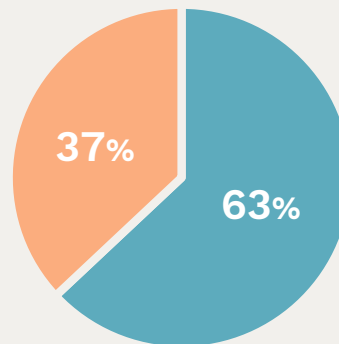
third quarter

代理店への販売の状況

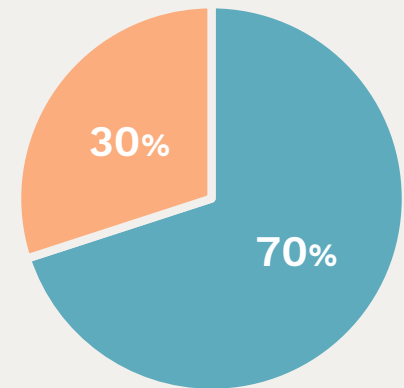
2020年3月期1Q実績



2020年3月期2Q実績



2020年3月期3Q実績



■ 代理店及び直販
■ アドウェイズ

UNICORNを主要代理店に開放



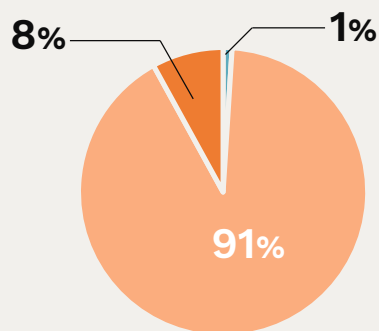
※名称順

About UNICORN

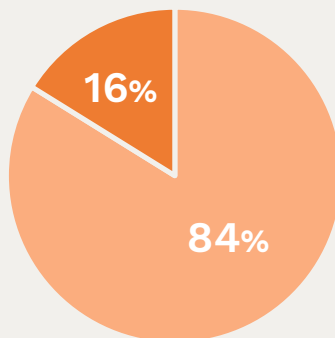
UNICORNの進捗

third quarter

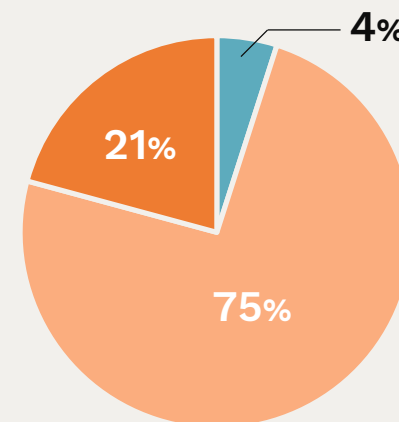
2020年3月期1Q



2020年3月期2Q



2020年3月期3Q



■ その他 ■ ゲーム ■ マンガ

新たな案件ジャンルの伸長

これまでのゲーム・その他領域は引き続き安定的に伸びているが
直近で新たにマンガアプリ領域の土台作りを行い、全体比率の向上にも成功した。

About UNICORN



Beyond Everything Internet

インターネットの全てを越えていく

はい、すげー
みんなの初めて

本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2020年2月4日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。

3

Chapter 3 : Supplementary materials

補足
資料

連結売上高 年間業績推移

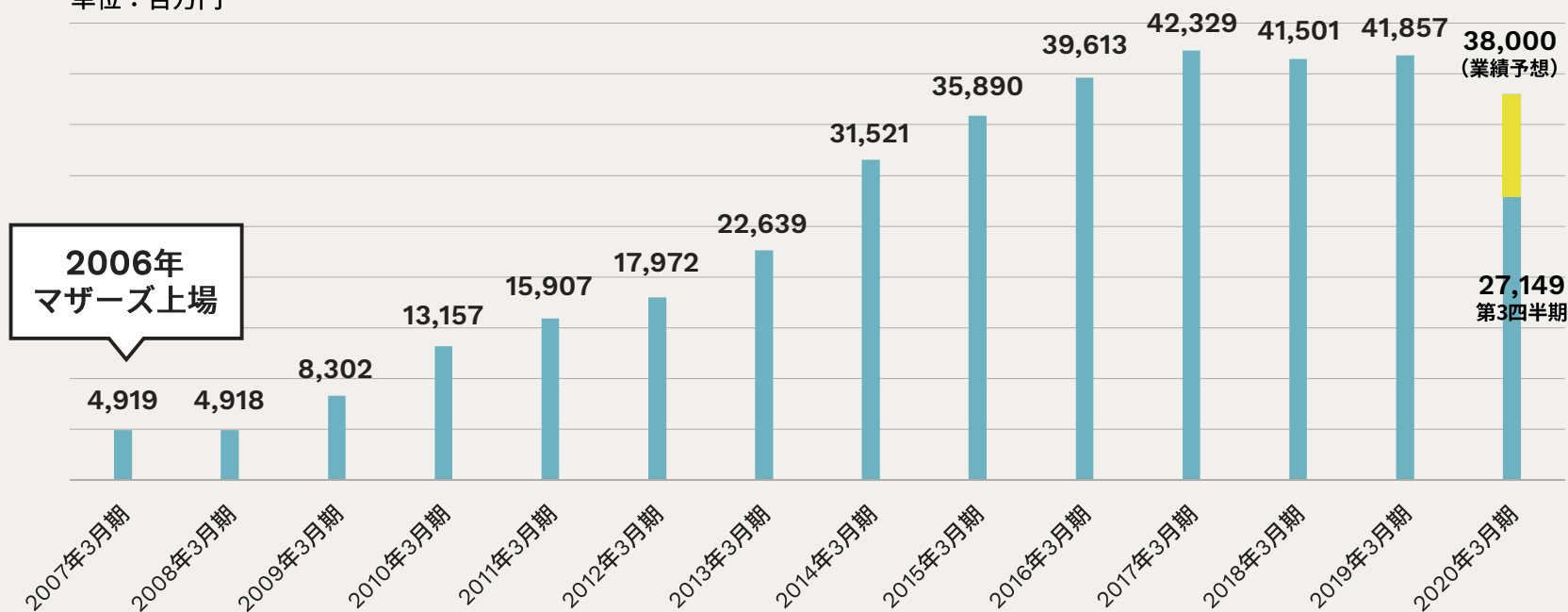
PC/フィーチャーフォン
アフィリエイト事業に注力

スマートフォン広告事業
の開始と拡大

海外への注力

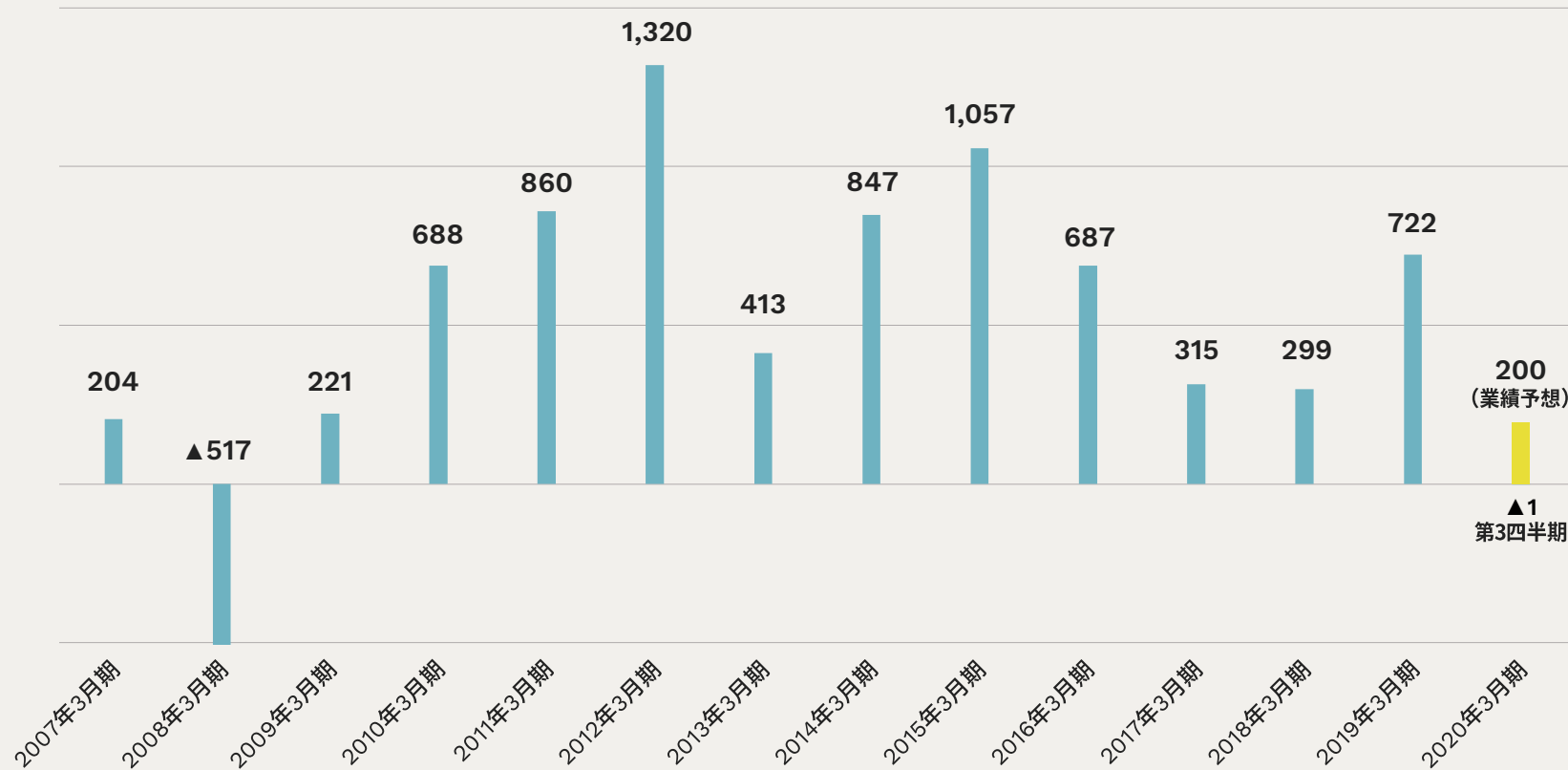
新規プロダクト
への注力

単位：百万円



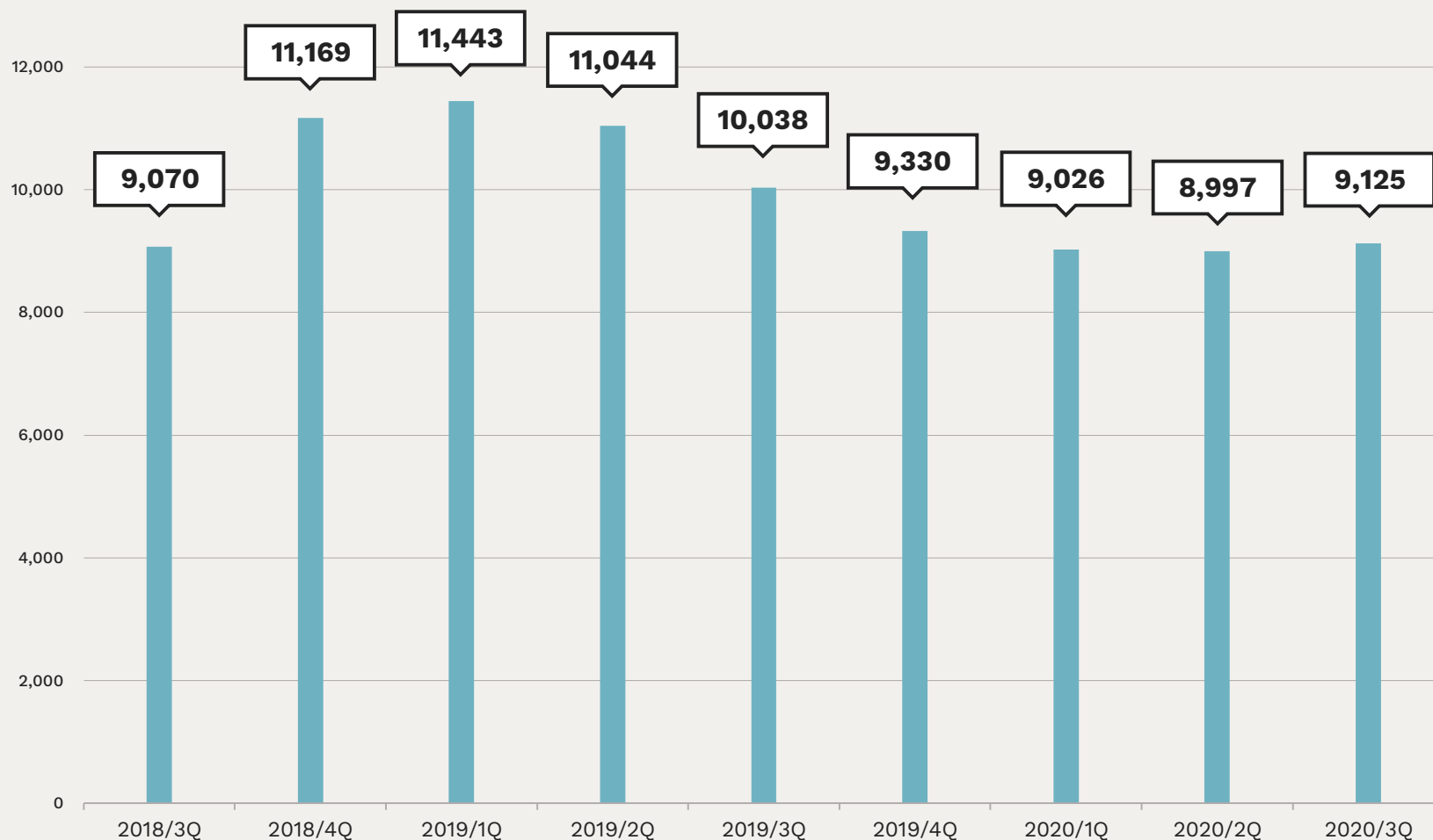
連結営業利益 年間業績推移

単位：百万円

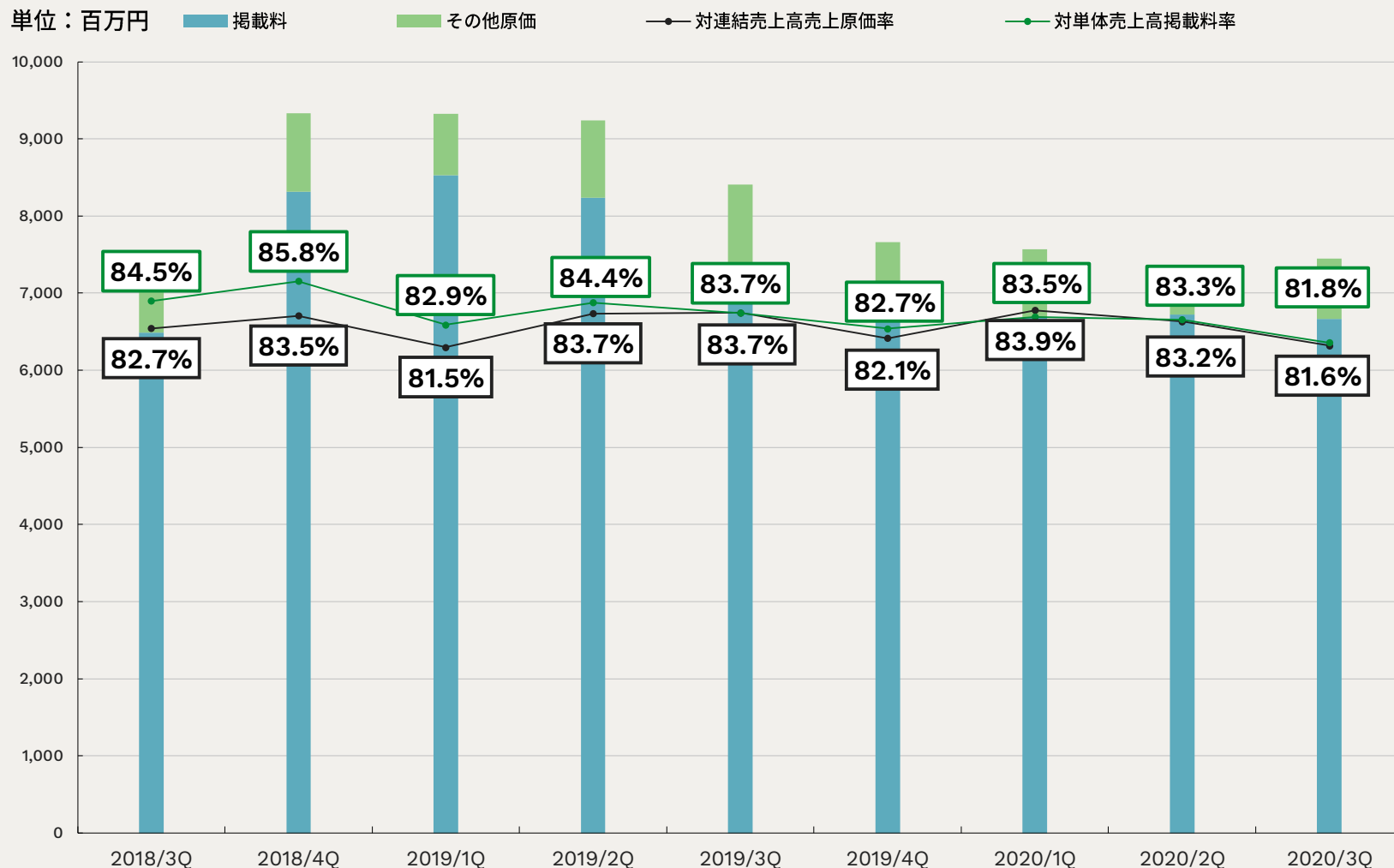


連結売上高 四半期推移

単位：百万円

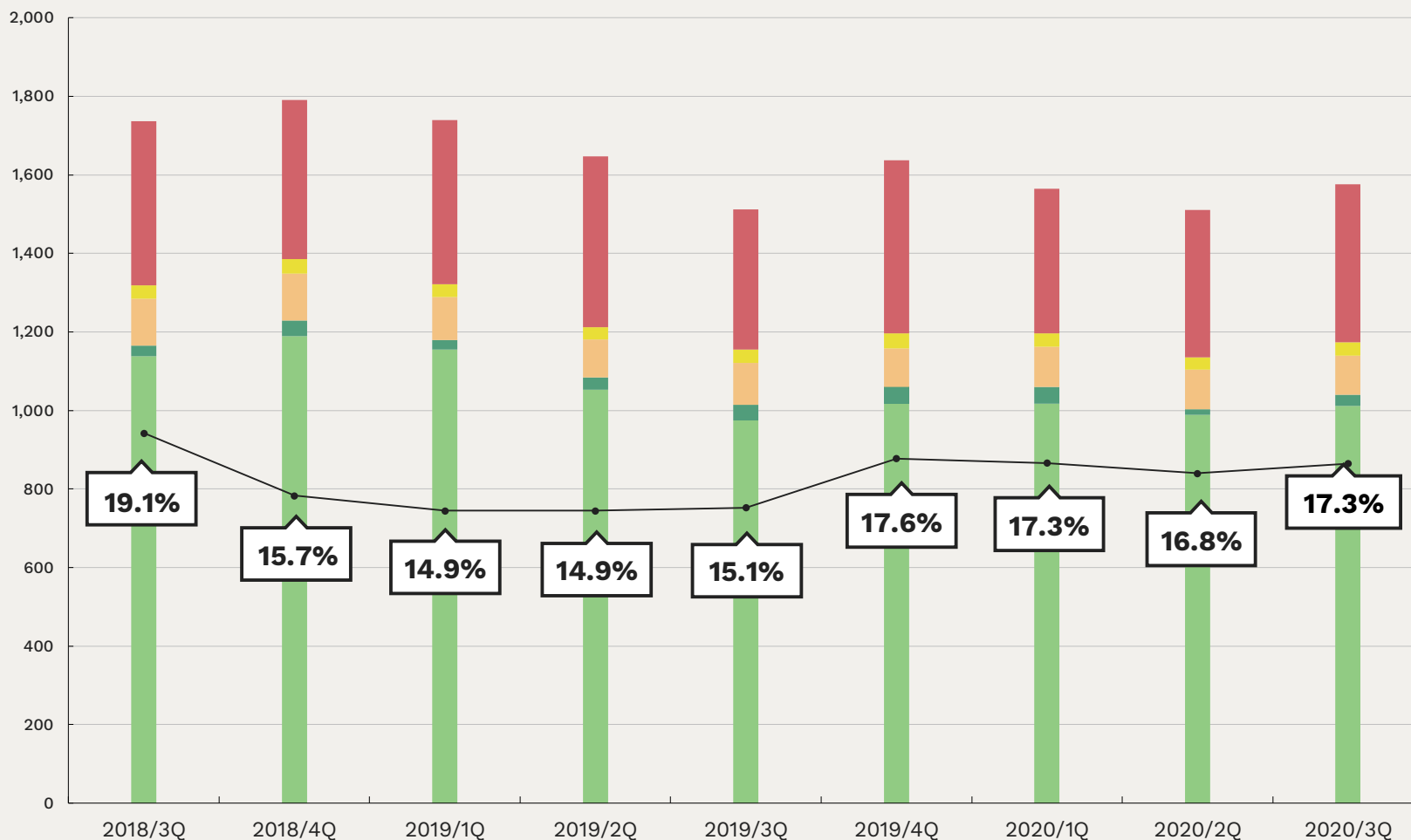


連結売上原価 四半期推移



連結販管費 四半期推移

単位：百万円 人件費 採用教育費 地代家賃 減価償却費 その他経費 —●— 対連結売上高販管費率

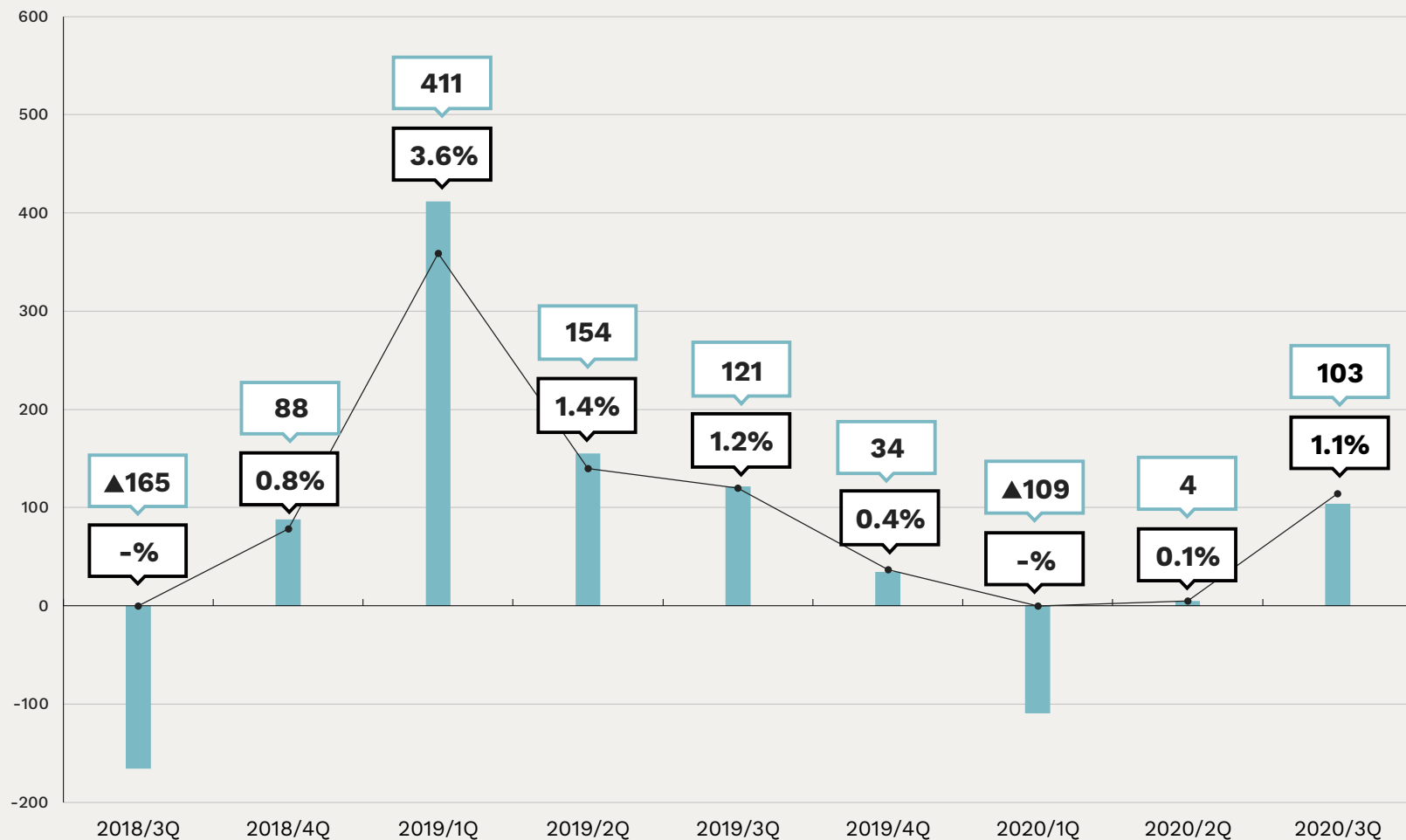


連結営業利益 四半期推移

単位：百万円

営業利益

対連結売上高営業利益率

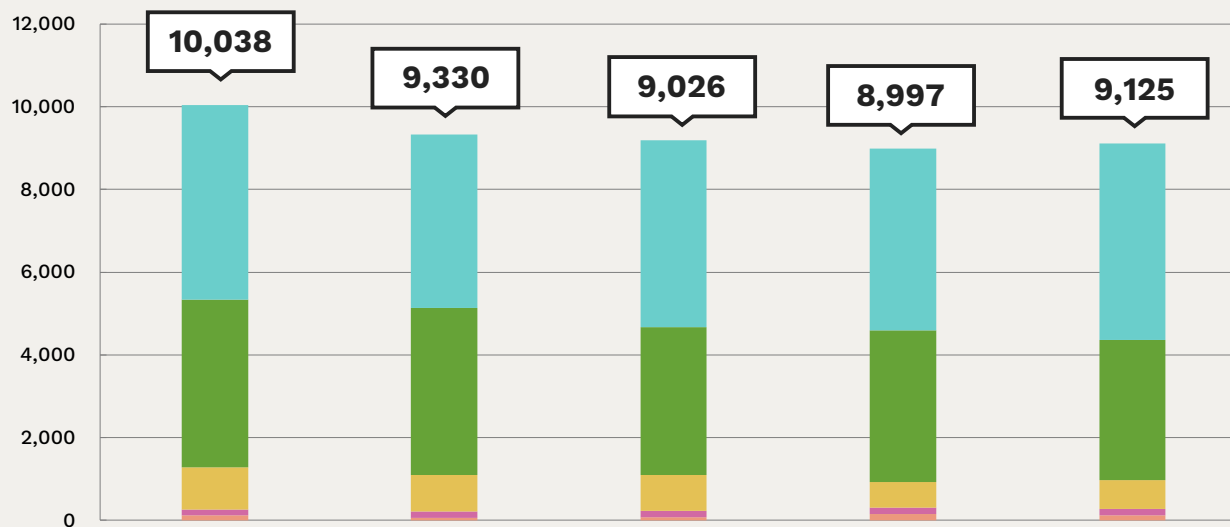


連結貸借対照表（前四半期比）

[単位：百万円]

	2020年3月期3Q	2020年3月期2Q	増減額	増減率
流動資産	15,077	14,153	+924	+6.5%
（現預金）	9,710	8,875	+834	+9.4%
固定資産	2,791	2,776	+15	+0.5%
総資産合計	17,868	16,929	+939	+5.5%
流動負債	5,360	5,550	▲189	▲3.4%
固定負債	247	202	+44	+22.0%
負債合計	5,608	5,752	▲144	▲2.5%
純資産合計	12,260	11,176	+1,084	+9.7%

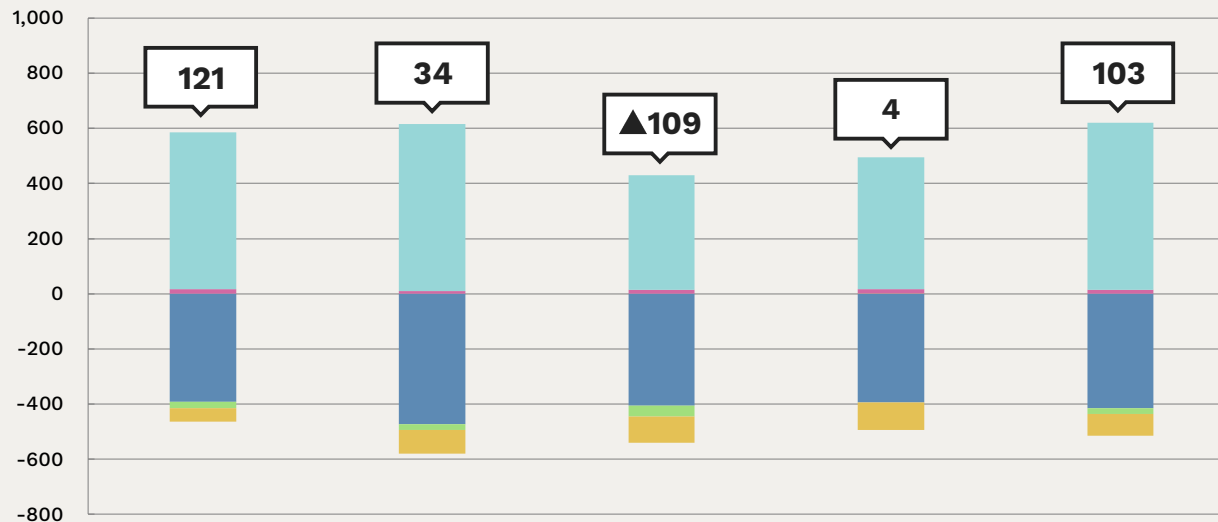
セグメント内訳別連結売上高構成比 四半期推移



						前四半期比	
	2019/3Q	2019/4Q	2020/1Q	2020/2Q	2020/3Q	増減額	増減率
スマートフォン	4,695	4,198	4,525	4,396	4,765	+369	+8.4%
インターネット	4,051	4,037	3,567	3,670	3,379	▲291	▲7.9%
海外	1,031	871	705	624	704	+79	+12.7%
メディアコンテンツ	142	156	150	156	153	▲3	▲2.0%
その他	118	67	78	148	122	▲25	▲17.4%
合計	10,038	9,330	9,026	8,997	9,125	+128	+1.4%

※2020/1Qよりセグメント名称をアプリ・メディアからメディアコンテンツに名称を変更しております。

セグメント内訳別連結営業利益構成比 四半期推移

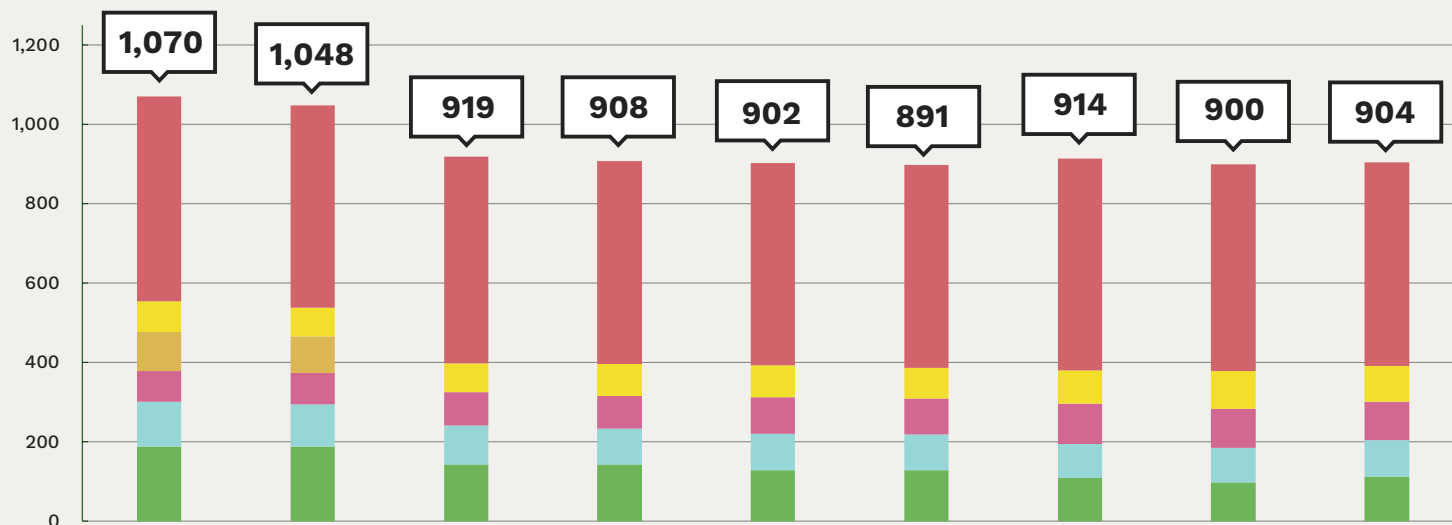


単位：百万円

	2019/3Q	2019/4Q	2020/1Q	2020/2Q	2020/3Q	前四半期比	
						増減額	増減率
広告	568	606	416	480	605	+124	+25.9%
海外	▲49	▲86	▲94	▲100	▲79	+20	—
メディアコンテンツ	17	10	15	15	14	▲1	▲6.8%
その他	▲23	▲20	▲41	1	▲21	▲23	—
消去又は全社	▲392	▲474	▲405	▲393	▲414	▲21	—
合計	121	34	▲109	4	103	+99	—

※2020/1Qよりセグメント名称をアプリ・メディアからメディアコンテンツに名称を変更しております。
 ※営業利益合計の前四半期比増減率は、増減率が1,000%以上のため表記しておりません。

当社グループの従業員数 四半期推移



※2018年3月末にMBOが行われたことにより、中国開発センターの従業員数が「0」になっております。

会社概要

quarter performance

会社名

株式会社アドウェイズ（英名：Adways Inc.）

設立年月日

2001年2月28日

事業概要

インターネット関連事業

代表者氏名

岡村 陽久

資本金

1,605百万円

[2019年12月末日現在]

売上高

41,857百万円

[2019年3月期連結]

従業員数

※臨時雇用者含む

904名（グループ全体）

[2019年12月末日現在]